立憲民主
RIKKEN MINSHU

若さ、情熱、行動力

名古屋市会議員
久田くにひろ

名古屋市議会ニュース
Vol.15
2022年10月号

プロフィール
昭和58年12月31日生まれ。瑞穂区生まれ。陽明小・汐路中・天白高を経て青山学院大学経済学部卒業、名古屋大学大学院経済学研究科修了。不二家・京セラ(KDJ)で法人営業に従事。経済水道委員会所属。

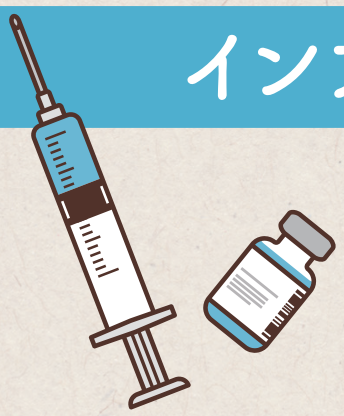
街頭活動 943回
10月20日時点

街頭活動 目標1000回まで、あと57回!!

日時 12月17日（土）11時30分～　場所 新瑞橋交差点

1000回達成街頭活動の日程を決めようと思います。達成する意気込みを伝えたくて。

インフルエンザ予防接種 無料助成



実施期間 令和4年10月15日～令和5年1月31日

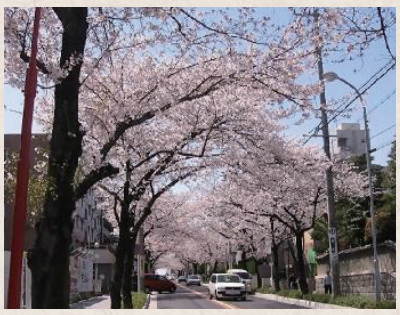
65歳以上の方（60歳～64歳の方も一部）を対象にして無料で予防接種ができます。
インフルエンザが流行する前に接種を受けておくと効果的です。

久田くにひろの提案のひとつ!!

瑞穂区の「汐路桜ロード」が今年度に植え替えられます

さくらの名所応援募金 第二弾

市内のさくらの名所を次世代へつないでいくため、さくらの保全や植え替えに取り組んでいます。今年度は、「汐路桜ロード」と藤が丘のさくら並木にて植え替えを予定。皆様のご支援、よろしくお願いします。



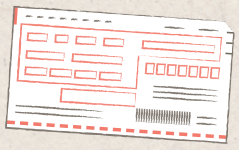
汐路桜ロード
瑞穂区役所駅から山崎川の石川大橋までを結ぶ約0.7 kmのさくら並木（約60本）で、春にはさくらのトンネルが楽しめます。山崎川のさくらともに地域に愛されるさくらの名所です。

募集期間 10月1日～12月23日

5,000円以上寄附された方に『国産さくら材使用オリジナルメモパッド』をプレゼント。

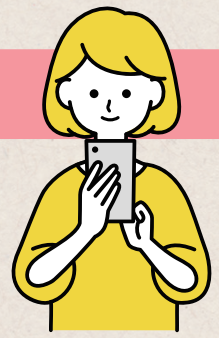
※公表に同意いただいた方は、5,000円以上で市公式ウェブサイトにてお名前・金額を公表します。
※ふるさと納税制度の適用を受けることができます。

申込は納付書やインターネットからできます



納付書
※瑞穂区役所、瑞穂土木事務所等に設置
※必要であれば久田事務所にお問い合わせ下さい

or インターネット



名古屋民主市議団市政報告
立憲民主党・名古屋市会議員 | 久田くにひろ事務所
〒467-0007 名古屋市瑞穂区大殿町3-5 ドミール汐路101号室
※地下鉄桜通線 瑞穂区役所駅徒歩10分、汐路中学校近くです。

TEL：052-846-3460　FAX：052-846-3461
MAIL：hisada.kunihiro92@gmail.com
ホームページは 久田くにひろ で検索!!
SNSはこちら　LINEはこちら

9月定例会決算委員会
「久田くにひろの質疑」

01 小中学生への起業家育成プログラム

次の時代を担う子どもたちに、いろいろな働き方を伝えていくのは重要。一方で、将来の選択肢の中に起業ということを意識している子どもたちは少ない。より多くの子どもたちに関心を持ってもらい、広く参加できるよう、教育委員会など、関係局と連携して進めていくべきでは。

久田
くにひろ

関心があまりない方にも起業について知ってもらうためにはどうすればよいか課題と考えている。トワイライトスクールでのモデル事業を実施しているが、今後ともより多くの子どもたちに関心持ってもらえるよう努めていく。

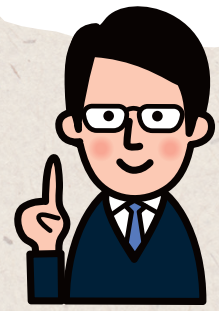
経済局

02 中小企業のロボット AI・IoT人材育成事業

デジタル化が進まない理由で、人材面だけでなくコスト面についてもあげている調査が多くあるが、コスト面への課題認識を伺いたい。

久田
くにひろ

経営人材育成講座を受けた企業から、「AI、IoTの導入にコストがかかる。」との意見があがっている。参加企業や議員の意見を踏まえ、より効果的な事業が実施できるよう、ブラッシュアップに努める。



経済局

中小企業においてDXを進める上でのデジタル化がまだ途上である。人材育成事業の受講企業への財政的支援のみならず、中小企業全般に対するDX化、デジタル化の進展のための財政支援を含めた新たな施策が必要だ。

03 芸術家の支援・育成

シンガーソングライターの藤田麻衣子さんとコラボした「きみのあした」プロジェクトを通して、コロナ禍での文化芸術関係者の支援を行ったことは承知している。この取り組みが浸透するようPRに努めてほしいが、名古屋の新たな文化芸術を創造していく点では、将来の文化芸術の担い手や若手芸術家をこれまで以上に支援し、育成していくことが大変重要ではないか。

久田
くにひろ

芸術家の支援・育成は文化芸術の推進にとって大切な視点である。議員のご指摘を十分ふまえ、文化芸術の担い手や若手芸術家の支援・育成に取り組む。

観光文化
交流局

04 浸水対策

行政による施設整備が必要であるが、激甚化している近年の状況を踏まえれば、市民と一体となって浸水対策を進めることも重要。上下水道局では防災危機管理局などと連携し、市民の自助・共助力を高めるための情報提供に努めながら、総合排水計画を着実に進めるよう意見しました。

久田くにひろ

05 台風15号の静岡市の事例

台風などによって取水口が流木で塞がれたことは名古屋市ではないということだが、静岡市では実際に起きた。断水となれば、市民の皆様に大きな負担をかける。情報収集に努めつつ、同様の事例が起こらないよう十分に対応するよう上下水道局に対して意見しました。

久田くにひろは名古屋民主市議団とともに名古屋市政を進めています。

プレミアム付商品券不正問題

少なくとも355口分（上乗せ分106万5,000円）で、架空の名義を使って購入する不正が発覚しました。本会議で、河村市長に対して、来年度以降の実施分における再発防止策を検討するよう求めました。

敬老パス制度ルール変更

市長公約であるバスと電車の乗り継ぎ回数のルール変更ついて、本会議で河村市長の姿勢を問い、市バスと地下鉄から先行的に条件緩和するよう直ちに検討するとの方針が示されました。直行のルートがない地域を中心に不公平感を指摘。敬老パスの利用は買い物、通院、家族の介護など多岐にわたる。回数制限は生活の質そのものの低下を招くことになるため、ルール変更を進めるべきだと求めました。

スクールランチのインターネット予約

来年度に新システムの開発に着手し、再来年度中にはスタートすることが本会議で明らかになりました。合わせてスクールランチ代金の支払いに利用される「ランチカード」の入金方法についても、クレジットカード決済などで入金できる仕組みの導入も検討しています。

市民の声を議会に届けています！

本会議での個人質問の様子をYoutubeでご覧いただけます